

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談に関する精神保健福祉センターの対応状況

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談について、令和2年6月に精神保健福祉センターで電話相談を受けた件数及び内容は以下のとおり。

【相談件数】

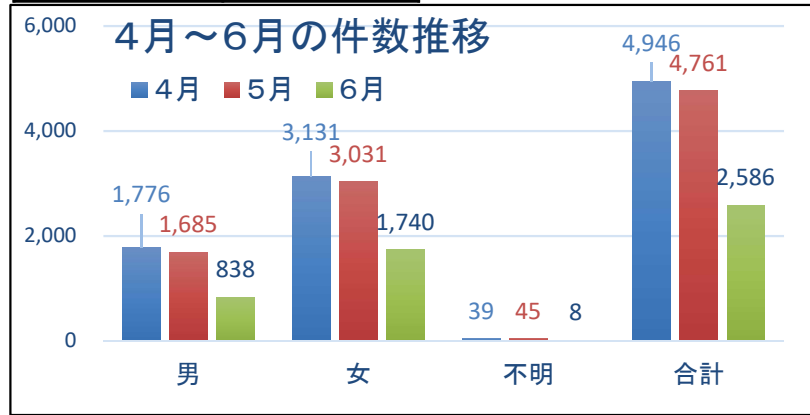
○都道府県・政令指定都市の精神保健福祉センター（69箇所）での相談件数 2,586件（前月比 ▲2,175件）

（男女別件数） （件）

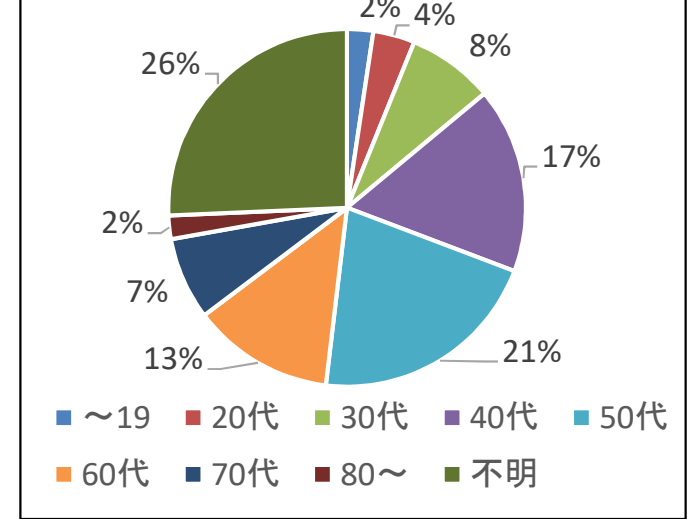
男性	838
女性	1,740
不明	8

（年齢別件数） （件）

～19	61	60代	332
20代	98	70代	193
30代	202	80～	55
40代	434	不明	664
50代	547	合計	2,586



6月 年齢別割合



【主な相談内容】

○心の不調

- ・感染に対する不安
- ・コロナウイルスの報道ばかりで気が滅入る
- ・不安で眠れない
- ・うつ状態になり、やる気がおきない
- ・不安で精神症状が悪化
- ・気分が優れずイライラする
- ・今頃になって不安が大きくなってきた

○生活に関する不安、ストレス

- ・コロナで失業し、不安が増加
- ・飲酒量増えてきた
- ・家族が在宅勤務で一日中家にいてイライラする
- ・収入が減り、生活が不安
- ・医療介護職の家族だが偏見を持たれ悲しい

○外出や通院、通勤等に関する不安、ストレス

- ・外出自粛によりストレスがたまる
- ・通院先に感染者がいるのではないかと不安
- ・通勤時や職場で感染しないか不安
- ・学校が再開したが登校できない

※相談を受けた結果、治療が必要な方については医療機関に、生活困窮の相談や職場に関する相談などについては、関係の相談窓口につなぐ対応を実施。
 ※2月7日～3月31日までの相談件数は、1,742件